

プロフェッショナルワイヤレスクリッカー

# Show Shift

SS-920



**AZA**  
**CORPORATION**

Rev1.00

## 改訂履歴

版数	発行日	改訂履歴
第1版	2024年12月10日	初版発行

# 目次

---

安全上のご注意.....	4
本製品の特長.....	6
付属品 .....	6
各部の名称と働き.....	7
接続・操作方法.....	9
本機の開け方.....	11
ID 登録（ペアリング） .....	14
仕様.....	18
保証書 .....	19



# 安全上のご注意

本機は安全に十分配慮して設計されていますが、誤った使い方をすると火災や感電などにより重大な事故を引き起こす可能性があります。

安全にお使いいただくために、ご使用前に必ずお読みください。




## 表示区分・絵表示について




この取扱説明書では、誤った使い方をしたときに生じる内容を以下のような表示で区分し、説明しています。







 <b>警告</b>	取り扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を表しています。
 <b>注意</b>	取り扱いを誤った場合に、使用者が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害の発生が想定される内容を表しています。

この取扱説明書には、安全にお使いいただくための様々な絵表示をしてあります。




表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してからお読みください。



	禁止事項を示しています
	警告・注意を促しています
	行為の強制・指示を示しています

 <b>警告</b>	
	<b>付属の電源アダプターを AC100V で使用する</b> AC アダプターは必ず付属のものを、AC100V の電源で使用してください。
	<b>異常があった時は電源プラグを抜く</b> 次のような場合は直ちにコンセントから電源アダプターを抜いてください。 <ul style="list-style-type: none"><li>• AC アダプターおよび機器本体が破損したとき</li><li>• 煙や異臭が発生したとき</li><li>• 異物が内部に侵入したとき</li><li>• 機器に液体がこぼれた時や雨などに濡れた時</li><li>• 機器に異常や故障が生じたとき</li></ul>

	<p><b>電源アダプターのコード、プラグを傷つけない</b> 傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。火災・感電の原因となります。</p>
	<p><b>電源アダプターの接続部分のほこりなどは定期的に清掃を行う</b> ほこりが付着したまま使用すると、故障・火災の原因となります。</p>
	<p><b>濡れた手で電源アダプターを扱わない</b> 感電の原因となります。</p>
	<p><b>分解や改造をしない</b> 内部には電圧の高い部分があるため、感電や火災の原因となります。また、機器の故障の原因となります。</p>
	<p><b>次のような場所で使用・保管をしない</b> 火災や感電、故障の発生を引き起こす可能性がありますので、次のような場所で使用・保管をしないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 温度が極端に高い場所(直射日光のあたる場所、発熱する機器の近くなど)</li> <li>・ 水気の近くや湿度の高い場所(風呂場、洗面台、濡れた床など)</li> <li>・ 湯気や油煙が当たる場所</li> <li>・ 塩害の恐れがある場所</li> <li>・ 雨や水滴に濡れる場所</li> <li>・ ほこりや砂ぼこりの多い場所</li> <li>・ 振動や揺れの多い場所</li> </ul>
	<p><b>異物や液体を内部に入れない、液体の入った容器を置かない</b> 機器内に異物(燃えやすいもの、硬貨、針金など)や液体(水、ジュースなど)を絶対に入れないでください。また、機器の上に液体の入った容器を置かないでください。感電や故障の原因となります。</p>

 **注意**

	<p><b>不安定な場所に設置しない</b> 安定した水平な場所に設置してください。落下等による故障・事故の原因となります。</p>
	<p><b>落としたり、強い衝撃を与えたりしない</b> 故障・事故の原因となります。</p>
	<p><b>プラグの抜き差しはプラグ部分を持って行う</b> 電源ケーブル等を抜き差しする場合は必ずプラグ部分を持って行ってください。ケーブルや機器の破損、および落下による機器等の破損の原因となります。</p>

	<p><b>お手入れの際は電源プラグを抜く</b>        お手入れをする際は本体から電源プラグを抜き、コンセントから電源アダプターを取り外してください。</p>
	<p><b>長時間使用しない場合は電源アダプターをコンセントから抜く</b>        長時間使用しない場合は本体から電源プラグを抜き、コンセントから電源アダプターを取り外してください。</p>

## 本製品の特長

---

ShowShift は数々のイベント現場での経験を元にして作られたプロフェッショナルクリッカーです。プレゼンターと技術スタッフ双方にとっての使いやすさを追求しました。

ShowShift は、技術基準適合証明を取得した 920MHz 帯を使用する特定無線設備であり、USB で接続されたパソコンを遠隔操作するための機器となります。

視認性の高い 515nm の波長をもつグリーンレーザーポインターを内蔵することにより、スクリーン上の重要なデータを的確に指摘するのに最適です。

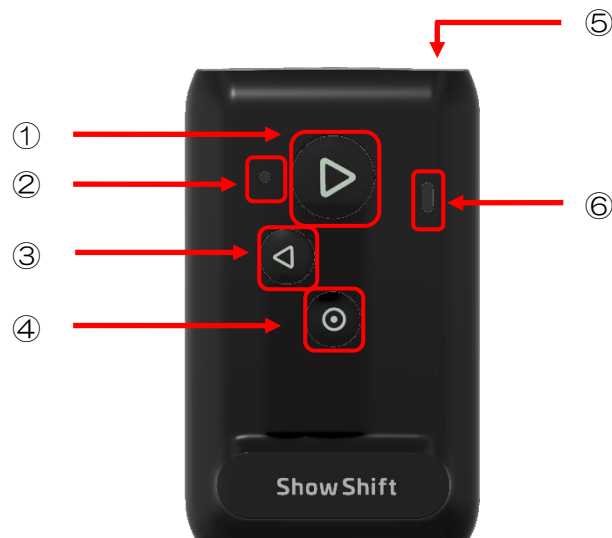
## 付属品

---

- 本体(送信機・受信機) ×1
- AC アダプター ×1
- 取扱説明書(本冊子) ×1

# 各部の名称と働き

## [送信機]



- ① 進むボタン  
プレゼンテーションソフトのスライドを進めます。キーボードの右矢印キーの動作となります。
- ② 送信動作 LED インジケーター  
送りボタン・戻りボタン操作時に LED が点灯します。
- ③ 戻るボタン  
プレゼンテーションソフトのスライドを戻します。キーボードの左矢印キーの動作となります。
- ④ レーザーポインター照射ボタン  
レーザーポインターを照射します。
- ⑤ レーザーポインター照射部  
グリーンのレーザー光が照射されます。  
※照射部を直接覗き込まないでください。  
※レーザー光を人や動物に向けないでください。
- ⑥ レーザーポインターLED インジケーター  
レーザーポインターを照射している間、LED が点灯します。  
電池切れの際は赤く点灯します。

## [受信機]



⑦ DC5V インプット端子

AC アダプターを接続し、電源を供給します。

※AC アダプターは必ず付属のアダプターを使用してください。

⑧ 進む/戻る LED ステータス

進むで上の矢印が緑に、戻るで下部の矢印が赤に点灯します。

⑨ USB 端子

操作するパソコンを接続します。4 台までコントロール可能です。



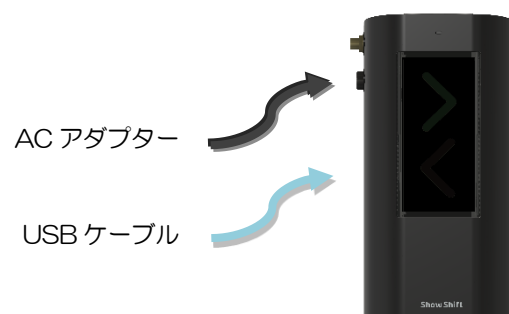
## 接続・操作方法

---

### 1. 受信機の電源接続について

付属の AC アダプターを接続します。

※USB 給電でも動作は可能ですが、他のデバイスに影響を及ぼす可能性があります。



### 2. パソコンと、本受信機を USB ケーブルで接続します。

送信機の進むボタンと戻るボタンを押すことで受信機のインジケーターが点灯いたします。



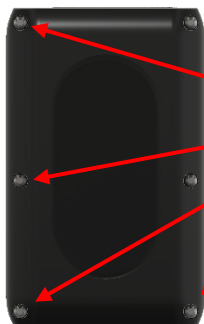
⚠ 注意 MacOS の場合、キーボード設定アシスタントが表示されますが、動作に問題はございませんので、終了を押してウィンドウを閉じてください。



## 本機の開け方



ID 登録（ペアリング）や送信機の電池交換の際などには、精密ドライバーを用いて本機を開ける必要があります。

送信機

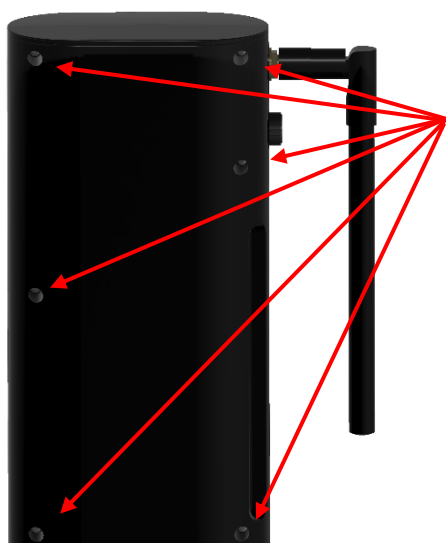


背面のビスを6点外し、開けてください。  
電池交換もこちらから行います。

※閉める際、ネジの締め付け過ぎによる破損にご注意ください。

	電池は CR123A をご使用ください。 誤った電池の使用は故障・事故の原因となります。
	電池の+・-の極性を間違えないでください。 故障・事故の原因となります。

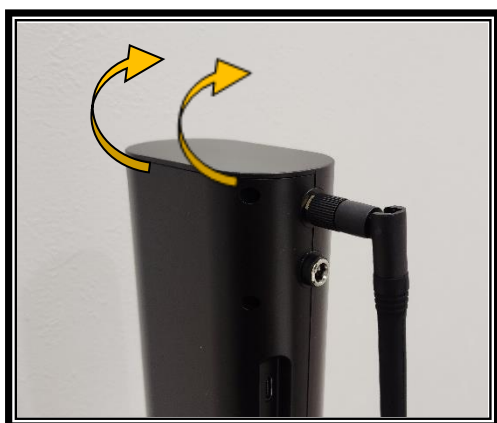
## 受信機



背面のビスを6点外し、開けてください。

内部配線されている箇所がありますので、開ける際はゆっくりお開けください。

下記のように、受信機の上部から外すと開けやすくなっております。

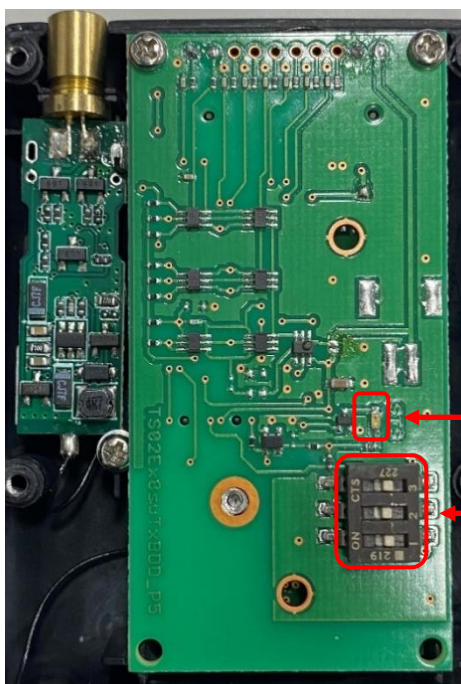


※受信機を閉める際は、内部のケーブルを挟みこまないよう、ご注意ください。

※閉める際、ネジの締め付け過ぎによる破損にご注意ください。

## 本機内部の紹介

### 送信機



#### 送信機

##### ① ステータス LED

送信の際に赤く点滅します。

##### ② 設定ディップスイッチ

チャンネルを設定する際に使用します。

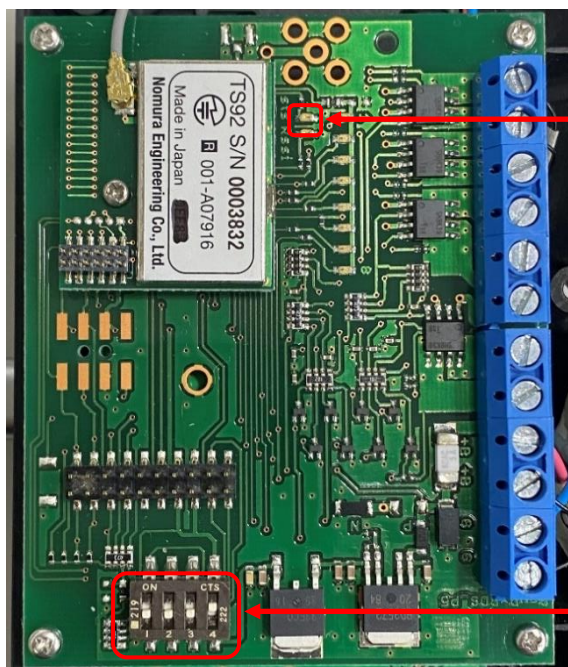
ON 表記がある側にスイッチを切り替えることでONになります。

(受信機側も同様です。)

チャンネル	DIP SW1	DIP SW2	DIP SW3
1	OFF	OFF	OFF
2	ON	OFF	OFF
3	OFF	ON	OFF
4	ON	ON	OFF

※DIP SW 3 は常に OFF のまま使用します。

### 受信機



#### 受信機

##### ① ステータス LED

受信、ID 登録作業の際に赤く点滅します。

##### ② 設定ディップスイッチ

ID 登録、チャンネル変更時に使用します。

チャンネル	DIP SW1	DIP SW2	DIP SW3	DIP SW4
1	OFF	OFF	OFF	ON
2	ON	OFF	OFF	ON
3	OFF	ON	OFF	ON
4	ON	ON	OFF	ON

※DIP SW3 は ID 登録時のみ使用します。

※DIP SW4 は常に ON のまま使用します。

# ID 登録（ペアリング）

---

送信機、受信機セットでのご購入の場合、出荷時にペアリングは済ませておりますが、機器を追加した場合などは必要に応じてペアリングをおこなってください。

## ID 登録とチャンネルについて

ご使用には、必要に応じて ID 登録（ペアリング）作業とチャンネルの設定が必要です。

### ID 登録（受信機）

送信機にはユニークな ID が記憶されており送信毎に ID が送出されます。この ID を受信機側に登録する事でペアリングを組んで使用します。最大 50 までの ID を受信側で登録することができるので 1 対多での利用も可能です。

### ID 登録（ペアリング）方法

- 1) はじめに受信機の背面を開け、ディップスイッチ 1～3 を OFF（チャンネル 1）、4 は ON のままにし、電源を投入してください。
- 2) 受信機の電源を落とし、ディップスイッチ 1～3 を ON にし、再度電源を投入してください。
- 3) ステータス LED が 高速点滅し、その後、周期点滅となります。（ID 登録モード）
- 4) 送信機のディップスイッチ 1～3 を全て OFF（チャンネル 1）に設定し、進むか戻るボタンを押し信号を送信してください。
- 5) 信号が受信されると、ステータス LED が 早点滅し、ID が一時記憶されます。
- 6) LED の点滅を確認後、送信を停止してください。  
※送信を続けると、LED が高速点滅となります。  
必要な場合は、他の送信機で上記 4～6 同様に ID を記憶させてください。
- 7) 受信機でディップスイッチ 1～3 を OFF にすることで、一時記憶された ID をメモリに登録します。 ※登録された ID は、電源 OFF 後も保持されます。
- 8) 一度、受信機の電源を OFF にすることにより設定が完了します。

### 登録した ID の消去

- 1) 受信機ディップスイッチ 1～3 を全て ON にして電源を投入してください。
- 2) 送信機を登録せずに受信機ディップスイッチ 3 を OFF にしてください。ID が全て消去されます。

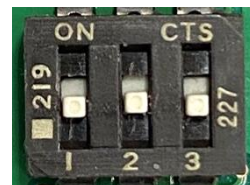
## 送信機チャンネル設定方法

利用可能なチャンネルは4チャンネルあります。

ID登録時、チャンネルは1に設定されますが、

同一エリア内で複数セットを使用される場合はできるだけ異なったチャンネルで使用してください。

チャンネル	DIP SW 1	DIP SW 2
1	OFF	OFF
2	ON	OFF
3	OFF	ON
4	ON	ON



送信機ディップスイッチ

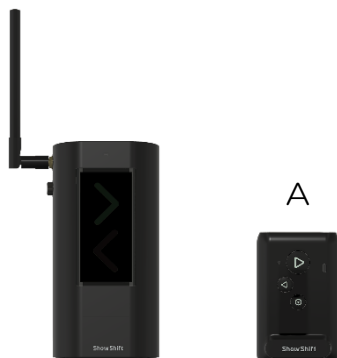
- 1) ID登録完了後、受信機の電源が落ちた状態でディップスイッチを任意のチャンネルに変更してください。
- 2) 受信機の電源を投入してください。
- 3) 送信機側のディップスイッチを受信機のチャンネルに合わせて、進むか戻るボタンを押し、信号を送信してください。
- 4) 受信機が認識し、動作すればチャンネル変更は完了です。

### ID登録時の注意事項

- 受信機にIDが登録されていない場合、通信できません。
- ID登録動作を開始し、何も登録せずに受信機ディップスイッチ3をOFFにして登録動作を終了すると、登録されているIDは全て消去されます。
- ID登録動作を開始し、受信機ディップスイッチ3がONのまま電源をOFFにした場合、登録内容は変更されません。(一時記憶されたIDは登録されません)
- 既にIDが登録されている状態で、登録動作を行った場合、IDが追加登録されます。
- 登録済みのIDの信号を受信した場合、及び、50個のIDを登録済みの状態で新たなIDの信号を受信した場合、LEDが高速点滅となります。この場合、新たなIDは登録されません。

## チャンネル設定イメージ

送信機 1 に対し受信機 1 の場合



受信機 チャンネル：1  
送信機 ID:A チャンネル：1

送信機複数に対し受信機 1 の場合



受信機 チャンネル：1  
送信機 A ID:A チャンネル：1  
送信機 B ID:B チャンネル：1

同一エリアで送受複数セット使用する場合



受信機 1 チャンネル：1  
送信機 A ID:A チャンネル：1  
送信機 B ID:B チャンネル：1



受信機 2 チャンネル：2  
送信機 C ID:C チャンネル：2  
送信機 D ID:D チャンネル：2

「送信 1 台：受信 n 台（理論上無制限）」、「送信 n 台（≤50）：受信 1 台」の操作が可能です。



## 困った時は

故障かな！？と思ったら、次の点をチェックしてください。

症状	原因	対処法
電源が入らない	AC アダプターの接点不良	AC アダプターを本体およびコンセントから外し、接続しなおしてください。 解決しない場合は AC アダプターを新しいものに交換してください。
	AC アダプターへの入力電圧が適切でない	AC アダプターへ AC100V が供給されているか確認してください。
	AC アダプターの故障	AC アダプターを新しいものに交換してください。
ボタンが反応しない	ボタン押下の間隔が早すぎる	ボタンを続けて操作するときは、 <u>1 秒以上間隔をあけてから操作</u> してください。
	ペアリングができていない	P15 の「ID 登録時の注意事項」を参照し、ペアリングができていないか確認してください。
	送信機の電池切れ	インジケータも光らない場合、電池切れの可能性が あります。 P11 を参照し、送信機を開けて電池を交換してください。
進む、戻る LED の反応が悪い	内部マイコンへの過負荷	一時的に内部マイコンがビジー状態になっている 可能性があります。 受信機を再起動してください。

# 仕様

## [主な仕様]

規格	ARIB STD-T108 テレコントロール (技術基準適合証明番号 001-A07916)
周波数帯域	920.6MHz~927.8MHz
送信電力	10mW
通信距離	500m
同時使用 CH 数	4CH
PC 接続台数	4 台
送信機登録台数	受信機 1 台につき送信機 50 台
接続性	USB-C 端子×4
対応 OS	Windows/Mac
対応アプリ	PowerPoint/Keynote/PDF/Google Slide
レーザー出力	<1mW Class 2
レーザー波長	515nm (グリーン)
電源	受信機：5V 専用 AC アダプター又は USB バスパワー※1 送信機：リチウム電池 (CR123A) ×1
送信機駆動目安	クリック送信回数：約 37,000 回 レーザーポインター照射時間：約 50 時間
外形寸法	受信機：W80.1mm×H165.5mm (アンテナ含む：268.4mm) × D48mm 送信機：W53.1mm×H85.3mm×D23.5mm
本体重量	受信機：約 347 g 送信機 (電池込み)：約 67.5 g

※1：USB バスパワーは PC の給電を消費するため、他のデバイスの給電に影響がでる可能性があります。